



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 コニシ株式会社

コード番号 4956

URL <http://www.bond.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大山 啓一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員

(氏名) 有澤 彰三 (TEL) 06-6228-2877

四半期報告書提出予定日 2022年11月10日

配当支払開始予定日 2022年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	58,148	7.8	2,886	△15.8	3,232	△11.9	7,030	195.2
2022年3月期第2四半期	53,943	8.3	3,426	30.9	3,668	33.5	2,381	39.3

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 7,481百万円 (159.7%) 2022年3月期第2四半期 2,880百万円 (20.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	197.17	—
2022年3月期第2四半期	66.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	128,284	79,577	58.7
2022年3月期	119,148	72,897	57.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 75,246百万円 2022年3月期 68,664百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	22.00	—	22.00	44.00
2023年3月期	—	27.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	22.00	49.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2023年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 22円00銭 ボンド発売70周年記念配当 5円00銭

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	122,000	7.3	6,950	△4.8	7,250	△7.3	9,600	86.9	269.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

親会社株主に帰属する当期純利益が大きく変動している要因は、固定資産の譲渡による固定資産売却益として、第2四半期決算に71億84百万円の特別利益が発生したためです。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	40,707,440株	2022年3月期	40,707,440株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	5,028,753株	2022年3月期	5,067,401株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	35,656,632株	2022年3月期2Q	35,620,226株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は、2022年11月29日（火）に証券アナリスト、機関投資家向け四半期決算説明会を開催する予定です。当日使用する四半期決算補足説明資料は、説明会終了後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当該四半期期間の世界経済は、新型コロナウイルス感染症対策と社会経済活動の両立に向けて、生活の正常化が進む中、世界的なインフレや各国の金融引き締め政策の影響、地政学リスクによる原材料の高騰など、依然、厳しい状況でした。今年4月から6月までの実質国内総生産は、前四半期と比べた実質の伸び率が年率換算プラス2.2%であったものの、8月の実質国内総生産は前月比0.3%と鈍化傾向となっており、景況感の悪い中国や欧州の動向を注視することが必要な状況です。

このような事業環境の中、当社グループにおきましては、行動制限の緩やかな解除に伴い、建築・土木分野の需要が復調し、補修・改修・補強向け売上高が、ボンド、工事、両セグメントともに、好調に推移しました。一方で、急激な円安進行および、ウクライナ情勢影響により、原材料コストが大きく上昇、収益を圧迫しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高581億48百万円(前年同四半期比7.8%増)、営業利益28億86百万円(前年同四半期比15.8%減)、経常利益32億32百万円(前年同四半期比11.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、2021年8月24日公表の「固定資産の譲渡および特別利益の計上に関するお知らせ」のとおり固定資産売却益を計上したことから、70億30百万円(前年同四半期比195.2%増)となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

① ボンド

一般家庭用分野においては、ホームセンター向けやコンビニエンスストア向けは堅調で、前年同四半期並みとなりました。住関連分野においては、建築コストが上昇傾向となり新設住宅着工戸数の持ち直しの動きは鈍く、内装工事用や内装建材用接着剤の販売数量は減少しました。産業資材分野においては、紙関連用途の水溶性接着剤や自動車・電子部品等に使用される弾性接着剤の販売数量は増加しました。建築分野においては、建築補修用や建築用シーリング材の販売数量は増加し、土木分野においても、表面保護・剥落防止工法が好調に推移しました。

売上高は、製品販売価格の是正による効果もあり伸長しましたが、接着剤やシーリング材に使用される原材料価格が過去にない水準まで高騰し、経費削減や原価改善の取り組み、売価への反映を遂行したものの営業利益は減少となりました。

以上の結果、売上高は331億96百万円(前年同四半期比8.5%増)、営業利益は17億78百万円(前年同四半期比21.0%減)となりました。

② 化成品

売上高、利益ともに、仕入商材の価格改定による影響もあり、全体的に好調に推移しました。化学工業分野においては、樹脂原料や放熱材料の販売が好調に推移しました。自動車向けの商材は、半導体不足、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による中国・上海での長期間のロックダウン等で需要影響はあったものの、復調しています。また、電気機械向けは、部品供給不足が解消され需要回復し、堅調に推移しました。丸安産業(株)は、半導体製造に使用される商材およびコンデンサ用商材が引き続き好調に推移しました。

以上の結果、売上高は169億62百万円(前年同四半期比8.3%増)、営業利益は6億79百万円(前年同四半期比38.9%増)となりました。

③ 工事業

工事業においては、公共事業を中心としたインフラおよびストック市場の補修・改修・補強工事の受注状況は引き続き堅調で、ボンドエンジニアリング(株)は計画どおりに進捗しました。その他の関係工事会社は、資材価格の高騰や大型工事案件を得られなかったこと等により、利益面は伸び悩みました。

以上の結果、売上高は78億97百万円(前年同四半期比4.3%増)、営業利益は4億53百万円(前年同四半期比28.6%減)となりました。

④ その他

その他は不動産賃貸業等となります。売上高は92百万円(前年同四半期比5.0%減)、営業損失は30百万円(前年同四半期は40百万円の営業利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ91億35百万円増加し、1,282億84百万円となりました。

① 資産

流動資産は、受取手形、売掛金及び契約資産が19億15百万円減少したものの、現金及び預金が81億26百万円、電子記録債権が23億97百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ96億94百万円増の919億60百万円となりました。固定資産は、有形固定資産が3億43百万円、投資有価証券が1億13百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ5億58百万円減の363億23百万円となりました。

② 負債

流動負債は、電子記録債務が2億87百万円減少したものの、未払法人税等が18億66百万円、支払手形及び買掛金が17億21百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ24億45百万円増の436億40百万円となりました。固定負債は、長期借入金が1億16百万円減少したものの、退職給付に係る負債が63百万円、その他が63百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ10百万円増の50億66百万円となりました。

③ 純資産

純資産は、利益剰余金が62億46百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ66億80百万円増の795億77百万円となりました。

④ キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の増加額は81億26百万円となりました(前年同四半期比64億40百万円増)。これは、営業活動によるキャッシュ・フローの増加額が32億72百万円(前年同四半期比10億97百万円減)、投資活動によるキャッシュ・フローの増加額が57億45百万円(前年同四半期は17億81百万円の減少)、財務活動によるキャッシュ・フローの減少額が10億19百万円(前年同四半期比40百万円増)となったことによるものです。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における資金の残高は、336億41百万円となりました。

(a) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、32億72百万円(前年同四半期比10億97百万円減)となりました。これは、有形固定資産売却益が71億84百万円、法人税等の支払額が13億18百万円、棚卸資産の増加額が12億14百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益が104億11百万円、仕入債務の増加額が12億50百万円、減価償却費が10億30百万円あったこと等によるものです。

(b) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果得られた資金は、57億45百万円(前年同四半期は17億81百万円の使用)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が6億56百万円あったものの、有形固定資産の売却による収入が64億70百万円あったこと等によるものです。

(c) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、10億19百万円(前年同四半期比40百万円増)となりました。これは、配当金の支払額が7億84百万円、長期借入金の返済による支出が1億45百万円あったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において、2022年4月28日発表時の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,169	34,296
受取手形、売掛金及び契約資産	35,087	33,171
電子記録債権	10,637	13,034
商品及び製品	7,280	8,171
仕掛品	253	290
原材料及び貯蔵品	1,305	1,662
その他	1,579	1,384
貸倒引当金	△47	△51
流動資産合計	82,266	91,960
固定資産		
有形固定資産	25,618	25,275
無形固定資産	811	744
投資その他の資産		
投資有価証券	7,628	7,515
その他	2,842	2,806
貸倒引当金	△17	△18
投資その他の資産合計	10,453	10,303
固定資産合計	36,882	36,323
資産合計	119,148	128,284

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,737	33,458
電子記録債務	3,413	3,125
短期借入金	46	51
1年内返済予定の長期借入金	104	75
未払法人税等	1,238	3,104
賞与引当金	1,125	1,187
役員賞与引当金	116	56
その他	3,413	2,580
流動負債合計	41,195	43,640
固定負債		
長期借入金	256	140
退職給付に係る負債	612	676
その他	4,186	4,249
固定負債合計	5,055	5,066
負債合計	46,251	48,706
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,603	4,603
資本剰余金	4,544	4,557
利益剰余金	61,164	67,411
自己株式	△5,504	△5,462
株主資本合計	64,808	71,110
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,383	2,287
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	270	684
退職給付に係る調整累計額	1,201	1,163
その他の包括利益累計額合計	3,856	4,136
非支配株主持分	4,232	4,330
純資産合計	72,897	79,577
負債純資産合計	119,148	128,284

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	53,943	58,148
売上原価	42,731	47,204
売上総利益	11,212	10,943
販売費及び一般管理費	7,786	8,057
営業利益	3,426	2,886
営業外収益		
受取利息	3	8
受取配当金	112	135
為替差益	10	131
持分法による投資利益	7	12
その他	132	94
営業外収益合計	267	382
営業外費用		
支払利息	5	4
減価償却費	12	12
支払補償費	1	9
その他	5	11
営業外費用合計	25	37
経常利益	3,668	3,232
特別利益		
固定資産売却益	5	7,184
その他	17	0
特別利益合計	22	7,184
特別損失		
固定資産処分損	1	5
投資有価証券評価損	11	—
その他	0	0
特別損失合計	12	5
税金等調整前四半期純利益	3,677	10,411
法人税、住民税及び事業税	1,141	3,105
法人税等調整額	26	125
法人税等合計	1,168	3,230
四半期純利益	2,509	7,180
非支配株主に帰属する四半期純利益	127	149
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,381	7,030

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	2,509	7,180
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	170	△137
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	210	444
退職給付に係る調整額	△8	△37
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	31
その他の包括利益合計	371	300
四半期包括利益	2,880	7,481
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,693	7,310
非支配株主に係る四半期包括利益	187	170

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,677	10,411
減価償却費	1,057	1,030
のれん償却額	111	64
投資有価証券売却損益 (△は益)	△17	0
有形固定資産処分損益 (△は益)	0	2
有形固定資産売却損益 (△は益)	△5	△7,184
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	64	60
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△68	△60
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	13	△23
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	25	47
受取利息及び受取配当金	△116	△144
支払利息	5	4
持分法による投資損益 (△は益)	△7	△12
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	2,597	△266
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△268	△1,214
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,004	1,250
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△364	70
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△59	8
その他	298	404
小計	5,943	4,450
利息及び配当金の受取額	114	144
利息の支払額	△5	△4
法人税等の支払額	△1,683	△1,318
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,369	3,272
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△510	△510
定期預金の払戻による収入	10	510
有形固定資産の取得による支出	△1,912	△656
有形固定資産の売却による収入	724	6,470
無形固定資産の取得による支出	△99	△37
投資有価証券の取得による支出	△35	△38
投資有価証券の売却による収入	44	0
保険積立金の解約による収入	8	—
その他	△11	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,781	5,745
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△4	△6
長期借入れによる収入	20	—
長期借入金の返済による支出	△134	△145
リース債務の返済による支出	△12	△11
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△780	△784
非支配株主への配当金の支払額	△66	△72
その他	—	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△978	△1,019
現金及び現金同等物に係る換算差額	75	128
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,685	8,126
現金及び現金同等物の期首残高	23,721	25,514
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,407	33,641

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ボンド	化成品	工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への売上高	30,608	15,665	7,572	53,846	97	53,943	—	53,943
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	149	77	0	226	41	268	△268	—
計	30,757	15,742	7,572	54,073	138	54,212	△268	53,943
セグメント利益	2,251	489	635	3,376	40	3,416	9	3,426

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ボンド	化成品	工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への売上高	33,196	16,962	7,897	58,055	92	58,148	—	58,148
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	173	183	—	356	41	397	△397	—
計	33,369	17,145	7,897	58,412	133	58,545	△397	58,148
セグメント利益又は損失(△)	1,778	679	453	2,912	△30	2,882	3	2,886

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。